

CIM技術検討会

データモデルを統括管理

課題対応へ支援充実

日本建設情報総合センター（JACIC）など11団体で構成する「CIM技術検討会」は、2013年度の検討報告をまとめた。CIM（コンストラクション・インフォメーション・モデリング）の導入を促進するための取り組みとして、データモデルの利活用などを統括的に管理することや、情報共有などが必要と提起。国土交通省が実施する14年度の試行についても、施工段階で必要なデータモデルの施工者への提供やアドバイザー業務の実施などによる支援体制の充実などを提案している。

導入への提案では、調査・設計や施工、維持管理の各段階に

関する情報を受け渡すための標準化が必要としたほか、3次元モデルによる設計から施工、管理用までの情報を受け渡すシステムやモデルを構築し、社会資本の維持管理に対応させることを求めた。

その上で、導入に向けて今後取り組む技術的な検討項目も示した。各段階で求められる3次元モデルの精密さやデータのあり方などについては、ルールを検討していく体制を敷くことが重要と提起。試行実務レベルでの技術的課題や解決策について共有化し、情報発信を積極的に実

事での発注者による施工データモデルの提供▽試行へのフォロー体制の充実▽試行の範囲の維持修繕工事への拡大▽受発注者間の情報共有ツールへの対応――の5項目を挙げている。このうち施工段階でのデータモデルの提供では、施工段階からCIMが導入される試行案件で、施工者の負担軽減のため発注者から3次元データモデルが提供されることを求めた。必要なモデル

データは、設計業務での実施なども提案している。

また、フォロー体制の充実では、試行の実施者が抱えた問題点や課題に早期に対応できる体制が必要とし、データモデルのマネジメントや発注者側の利活用の支援を実施するアドバイザー業務として実施する制度を提案している。支援の主体としては技術検討会に参加している団体を挙げ、三者会議への参画や現場

調査による問題の解消に向けた支援、施工計画検討の

【建設ICT】

- | | | |
|----------|----------|----------|
| 1. 日経 | 2. 朝日 | 3. 毎日 |
| 4. 読売 | 5. 岐阜 | 6. 中日 |
| 7. 産経 | 8. 静岡 | 9. 伊勢 |
| 10. 中部経済 | 11. 建通 | 12. 日刊工業 |
| 13. 建設通信 | 14. 信濃毎日 | 15. 日本海事 |
| 16. 建設工業 | | |

平成26年 5月20日 (朝)・夕) P1